# 下関市駐車場整備計画を補完する諸施策の検討

## 駐車場整備計画を補完する諸施策の検討

### ① 駐車場誘導案内の検討

本市では、観光客が集中する特異日において、主要な道路上に既存駐車場へ誘導する看板等を設置し、渋滞車両の分散化、既存駐車場の有効活用を図っています。

図表 参-1 貴船交差点
（関門ビジョン・上田中町１丁目付近）

今後は、誘導看板とＱＲコードを組み合わせ、ＱＲコードを携帯電話等で読み込むことで、駐車場の位置情報や経路、目的地までの時間等の情報を瞬時に入手することができ、来訪者を目的の駐車場まで簡易に誘導できるような、新しい誘導案内等について検討します。

また、建築物の壁面に設置されたデジタルサイネージ等の広報媒体を活用するなど、来訪者への利便性向上に向けた取り組みを進めます。

また、令和 2 年度においては、国土交通省と連携し、下関ＩＣ方面から唐戸エリアへの来訪車両を、渋滞が発生する最短ルートである県道下関港線を回避し、細江町駐車場に迂回誘導させることで、スムーズに移動してもらうことを目的とした「唐戸エリアへはまっすぐよりぐるっと！！」に取り組みました。

コロナ禍の中での実施であったため、来訪者数も少なく、十分な検証結果は得られませんでしたが、唐戸市場周辺への自動車流入の抑制と既存駐車場の有効活用につながる有効な手段となるため、引き続きこの取り組みを継続し、周知定着化を図ります。

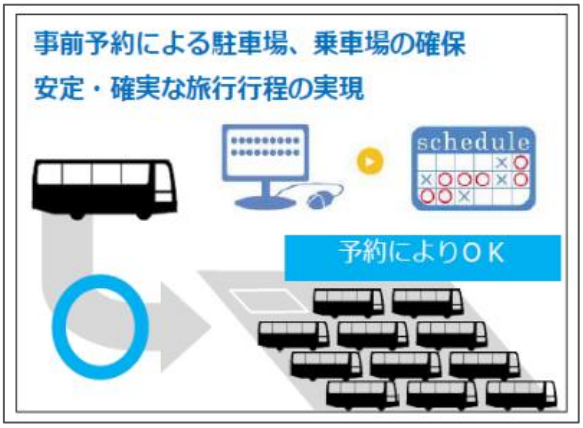
図表 参-2
唐戸エリアへはまっすぐより
ぐるっと！！ （チラシ）

② 観光バス対策

観光施設が集積する人気観光スポットである唐戸町周辺地区では、大型観光バスの流入により交通渋滞が発生するなど周辺の交通に著しく支障が出ています。また、近年のインバウンド需要の拡大に伴い、今後も大型観光バスの流入増加が予測されます。

現在、GW期間中の対策として、市役所付近にある「下関市立近代先人顕彰館」前を観光バス乗降場所とするなど、大型観光バスの唐戸町周辺地区への流入を抑制する対策を講じていますが、大型観光バスの流入をさらに抑制するため、市役所周辺の市道、市役所車寄せなどを活用した観光バスの乗降場所の確保、遊休土地や既存の大型グラウンドなどを活用したバス待機場の確保などについても検討を実施します。

また、併せて、観光バスの乗降場所や待機場の情報発信や、事前予約制の導入の可能性についても検討を行います。




＜観光バス予約システム　H29.2 運用開始＞

＜乗降場の交通規制＞

図表 参-3　観光バス駐停車対策～東京都台東区の取り組み～

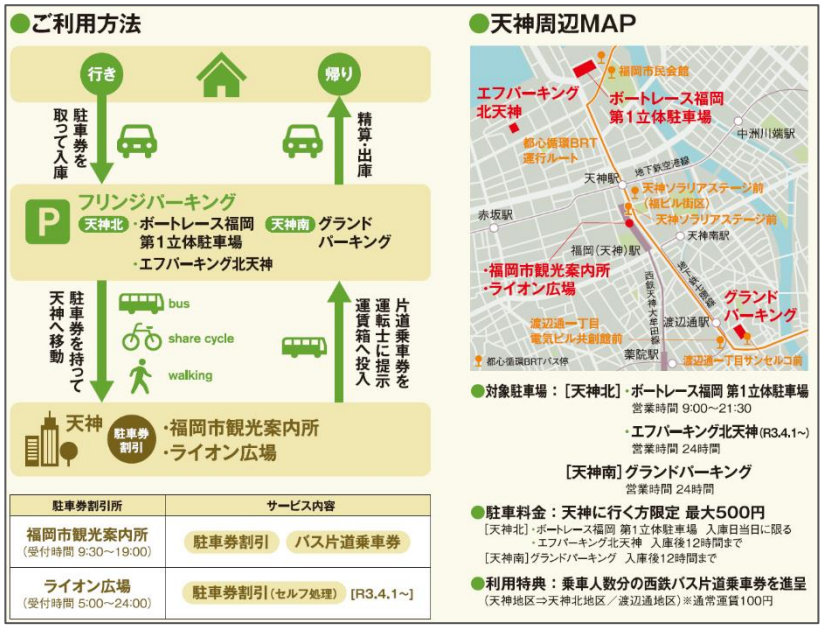
（国土交通省「駐車対策の現状」より）

### ③ 自動車流入の抑制

人気観光スポットである唐戸市場周辺では、特に連休を伴う休日を中心に交通が集中し、駐車場への入庫待ち車列により国道　9　号や県道下関港線などの周辺道路で渋滞が発生しています。

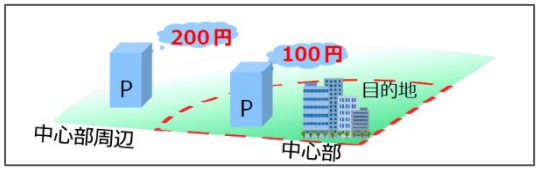
市中心部における渋滞緩和策として、市中心部への自動車流入を抑制し、駐車場利用の分散化を図っていくことが必要です。

自動車流入の抑制と駐車場利用の分散化を図る施策として「フリンジパーキング」が有効な施策の一つと考えられます。市中心部周辺の駐車場（フリンジパーキング）に駐車し、公共交通などに乗り換えて移動する仕組みであり、フリンジパーキング利用者には特典やサービスを付与することで、市中心部への自動車流入の抑制、公共交通利用の促進、利用者の回遊行動の拡大を促すことができますが、フリンジパーキングの利用料金設定（利用者への特典等）や市中心部へ移動するためのバスの利便性確保、公共交通への乗り換えによるインセンティブを効果的に付与するシステムの構築など、バス事業者及びフリンジパーキングへの協力事業者との調整などが必要になってくるため、今後は導入の可能性について検討していきます。




**図表　参-4　福岡市天神地区フリンジパーキング**
（「福岡市フリンジパーキング案内」より）

また、市中心部から遠い駐車場ほど高いサービスが受けられるような仕組み（遠くなるほど特典が高い、駐車料金が安い）なども自動車流入の抑制策の一つとして考えます。




**図表　参-5**
**中心部から遠い駐車場ほど高いサービスが受けられる仕組みイメージ**
（「まちなか駐車場適正化計画 R2.12.熊本市」より）

### ④ 観光型パーク＆ライド

本市では、平成 25 年から 29 年までのＧＷ時において、民間事業者の協力のもと細江町駐車場や海峡メッセ駐車場から唐戸町周辺地区への無料シャトルバスを運行していましたが、費用対効果等の観点から現在運行は行っておりません。

しかしながら、観光シーズンの著しい渋滞の緩和、観光客の周遊性向上の観点から、シャトルバスの運行による「観光型パーク＆バスライド」は重要な施策と考えられます。

近年、大規模イベント時の施設の駐車場不足対策の一つとして、周辺の大型駐車場の他に、周辺地域の大型グラウンドなどを活用した「パーク＆バスライド」などの取り組みが実施されています。本市においても、ＧＷなどに大型グラウンドなどを活用した「観光型パーク＆バスライド」の導入の可能性について検討していきます。

なお、令和 3 年 4 月より細江町駐車場において電動アシスト自転車（ 5 台）のレンタサイクルの運用を実施しております。レンタサイクルという移動手段を活用することで、細江町駐車場のパーク＆ライドの拡充につながることが期待されます。

図表 参-6　2017 彦根城パークアンドバスライド社会実験

### ⑤ 公共交通への転換策の検討

下関市総合交通戦略では、『いきいきと活動できるまちを支える交通体系～みんなで育む、みらいへ受け継ぐ下関市の交通～』を基本理念として、自動車に依存しなくても、市民や来訪者が様々な目的の活動を行え、安全・安心して暮らせるまちを目指しています。

駐車場においてもこのようなまちづくり関連施策との連携を図り、駐車需要そのものを削減するためには、自動車から公共交通への転換を進めることが必要です。そのためには、公共交通に関する情報提供の充実や公共交通利用時のインセンティブ付与などにより、公共交通への転換を促していくことが重要になってきます。

路線バスを運行するサンデン交通株式会社には、「関門周遊パスポート」、「関門海峡クローバー切符」などの様々な企画チケットがあります。

今後は、路線バスによる企画チケットを活用し、観光事業者、観光コンベンション協会、鉄道事業者等と連携し、より観光客に公共交通への転換を働きかけるような情報内容、情報提供方法、インセンティブ付与などについて関係者が具体の検討を行っていくことが必要になると考えます。

また、鉄道での来訪者にとっては、下関駅から唐戸町周辺地区への移動では、バスを除くとレンタサイクルが重要なアイテムとなっていることから、引き続き来訪者への周知徹底を行う必要があります。

参考資料

# 関門ビジョンの位置等について

1.所在地

下関市上田中町一丁目４番１号の建物の壁面

2.外観イメージ

参考資料

## 用語の解説

| 用語 | 解説 |
|---|---|
| 駐車場シェアリング | IoT を用いて、空きスペースを持つオーナーと、駐車場として利用したいユーザーをマッチングさせるシェアリングサービス。 |
| バリアフリー化 | 高齢者・障害者等が社会生活をしていく上での物理的、社会的、制度的、心理的及び情報面での障壁（バリア）を除去し、円滑に利用できるようにすること。 |
| ユニバーサル対応 | あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいようにすること。 |
| 低炭素社会 | 気候に悪影響を及ぼさない水準で大気中温室効果ガス濃度を安定化させると同時に、生活の豊かさを実感できる社会 |
| デジタルサイネージ | 屋外、店頭、公共空間などのあらゆる場所で、ディスプレイ（電子看板など）を利用して広告宣伝を行う手法。 |
| フリンジパーキング | 駐車場を都心周縁部に計画的に配置し、都心部への車の乗り入れを抑制するもの。 |
| パーク＆ライド | 目的地の交通混雑や環境負荷の緩和のため、自動車を周辺の駐車場に止め、公共交通へ乗り継ぎ目的地に行く移動形態 |
| インセンティブ | 目標を達成するために企業や人等に対して行動を促すための動機付け（支援）を行うこと。 |